

令和3年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工科高等学校

項目担当	本年度の重点目標	・生徒個々の能力の向上を図る。 ・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信をより高め生徒募集に繋げる。 ・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。	
	重点目標	具体的方策	中間評価
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭の連携を深める。 式典行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の活性化を図る。 e-メッセージを積極的に活用する。 職員間の協体制を整え、式典行事に取り組む。 生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でP T A総会は紙面総会として行った。P T A登校指導は感染予防対策を十分にとり、役員を中心に実施した。また、2学期に向けコロナ対策を行い行事の検討を進めている。 式典行事等は放送を利用して実施した。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学力を向上させる。 広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 授業を大切にす。 (授業規律、成績不振者指導等) 中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子について伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の成績不振者に対し、追試補習の事前指導を実施した。 基礎学力を高めるため、4月に新入生に対し基礎力診断テストを実施し、運動課題を取り組ませた。9月に全学年を対象に実力テストを実施した。 6校の中学校で進路説明会を実施した。また、運営委員による中学校の訪問を実施した。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 安全・安心な学校生活の実現。 いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。 薬物乱用防止に向けての啓発活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。 薬物についての危険性を周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が自ら挨拶をするが、元気に挨拶ができると良い。 夏季休業中にズボンの裾をまくる者がいた。 交通安全では、登下校のマナーについて数件連絡があった。 生活アンケートの結果から、日常生活では多くの生徒が充実した生活を送っている。 薬物乱用防止についてのリーフレットを配布した。さらに、校内放送においても危険性を周知した。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を図る。 自分に合った進路選択をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばせるように援助する。 勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の予備調査を3度行うなど、3年学年会による事前調査を実施した。 卒業生による職業指導講話、外部講師による進学指導講話、校外での企業研究会など、昨年度に実施できなかった行事を行えた。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 健康への意識を高め、感染症予防にも努め、心身ともに健康的な学校生活を送れるようにする。 学校生活における不安や悩みの早期発見、解決に努める。 日常の清掃に積極的に取り組み、安心安全な学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を高める。 こまめな換気、手洗石鹸の補充をし、感染症予防に努める。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかり、情報を共有し問題解決に取り組む。 清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化、校内整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態措置のため1、2年生の内科運動器検診、眼科検診、歯科検診、耳鼻科検診は延期とした。1年生の保健講話は学校薬剤師に依頼し実施した。 新型コロナウイルス感染症について今後も予防に努める。 スクールカウンセラーを活用している。今後も誰もが相談しやすい環境づくりに励みたい。 生徒会厚生委員の活動もあり、ゴミの分別に努めることができた。2学期には、ワックス塗りがあるので一層環境美化に努めたい。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。 個人情報漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 「KO-KA-Times」(昨年度までの「K0-GY0-Times」)「半工Girl's」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 セキュリティの向上を行う。 令和4年度より新学科が始まるため、新学科のW e b ページを開設する。 中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にP R する。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の図書館だよりや年度初めの新入生オリエンテーションの効果もあって、昨年度と比較して利用者が格段に増えた。また、テスト期間中に自習部屋として利用する生徒も増加している。 生徒用タブレットP Cの増台により、教務部と連携して校内の情報セキュリティの向上を検討している。 新学科用のページに必要な情報を集め、提携しているW e b 制作会社と連携して完成させた。 中学校訪問時にKO-KA-Timesや半工Girl's ライフを配布した。

	重点目標	具体的方策	中間評価
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実を図る。 ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 半田工科高等学校に適した学校行事を検討する。 ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 6月の体育祭について、新型コロナウイルス感染症対策として、運営方法や種目の見直しを行ない、実施することができた。反省点は多いが、行事が行えたことは、生徒たちにとってよかったと思う。また、文化祭の実施方法を現在検討している。 半田市のボランティアに5名の希望者が参加した。今後も内容を吟味し、生徒たちに募集を呼び掛けていく。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得に取り組むことで、自ら学ぶ力をつけ、チャレンジ精神を育て、生徒個々の能力向上を図る。 積極的に地域イベントに参加して、開かれた学校づくりを推進し、生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格の情報を正確に素早く提供する。提供する方法としてホームページを活用する。 地域連携授業や地域イベントに積極的に参加し、本校の魅力を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に資格検定年間行事予定をホームページに掲載、その後、検定試験の案内等をホームページを活用して発信した。 8月4日に中学生体験入学を実施し、約450人の中学生、保護者に対し、本校の魅力を発信した。
電子機械科・ロボット工学科・機械科	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験をとおして、学習に対する姿勢を育む。また、「安全への意識」、「5S」や「報連相」など工業人としての姿勢や考え方を伝え、理解し実践できるように育成する。 新しい学科への学習内容の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。 資格・検定に対して計画的に取り組ませる。 外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 新しい実習の教育効果があがるように、設備、指導書、実習展開等を検討し、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対し概ねしっかり対応できている。1年生の対応については電気科との協調が必要。引き続き共通理解を進めたい。 学科として旋盤検定・ボイラ講習等働きかけをしている。学校開催の旋盤検定も無事終わることができた。 夏休みを利用し、インターンシップとクラフトマンIIIを実施して地元企業との関係を築いている。 新しい実習テーマを運用しているが、数回のローテーションを終え改善が進んでいる。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の授業や資格取得のための補習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得や検定試験のための学習を通して、多くの生徒が電気に関する知識と能力を高めることができた。 特に1年生に対してレポート指導を粘り強く行った結果、提出物をしっかり出す習慣が身につけてきている。 中学生体験入学に多くの生徒が参加することにより、地域へ本校電気科の情報を発信した。また、生徒がより自己表現できるようになった。 総合競技大会の結果を学校ホームページを通じて発信した。
建築科・建築デザイン科	<ul style="list-style-type: none"> 「衣・食・住」という私たちの生活の根幹をなす建築学と、デザインを学ぶことの大切さと楽しさを伝える。 専門教科の基礎的能力を向上させ、社会とのつながりを伝え、応用力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒には、建築は私たちの生活を守り、優れたデザインは生活を豊かにしていることが伝わるような言葉や記事、映像を授業の中に取り入れる。 中学生や保護者には、体験入学やホームページをとおして建築デザイン科で学ぶことの大切さと楽しさが伝わるよう発信する。 製図は、手描きの技法を指導し、その発展形としてCADを指導する。 木構造は、手刻みの木材加工の技法を指導し、発展形としてプレカットや2×4があることを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の練習では、NHKの逆転人生で取り上げられた昭和書体さんのフォントのことを紹介してから取り組ませた。インシャルデザインでは、テレビ東京のカンブリア宮殿で取り上げられた、佐藤可士和さんのロゴデザインを紹介してから取り組ませた。 学校案内パンフレットとホームページは内容が分かりやすいように写真と文章を大きく変更した。 手書き製図の時間はデザインの時間であると言った卒業生のナガオカケンメイさんのことを紹介して根気よく取り組ませた。 木材の世界的な不足(ウッドショック)について紹介し、私たちと木とのかかわりについても紹介した。 カリモクさんからソファを借りて展示し、生徒に生活の中のデザインについて体感させた。
土木科・都市工学科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上を図り、社会に必要な知識・教養の習得を目指す。 細かな生活指導を大切にし、基本的な生活習慣を育む。 地域社会との繋がりを考え、学外への情報発信もできるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容を基本とし、さらに就業後必要となる国家資格試験の内容も教科指導に取り入れる。資格の重要性を生徒へ伝えることにより、学習意欲を向上させる。 日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉使いを伝え、社会人としての心構えを身につけさせる。 地元企業との繋がりを大切にし、外部講師という形で出前授業等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業を通じ、教科書の内容に加え、実際に行われている仕事の様子も伝えることができています。引き続き継続していきたい。 多くの生徒において、正しい言葉遣いができていると感じている。授業と休み時間など、けじめについても継続した指導をしていきたい。 5月にリモートによる現場見学会を実施することができた。

	重点目標	具体的方策	中間評価
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態を把握しながら規律を身につけさせる。 資格取得の励行。 学科選択の適正化。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの活動における声かけや、コミュニケーションを取りやすい関係を作りながら指導する。 授業や補習を通して自学自習のできるように指導する。 実習・座学を通して工業教育へ興味関心を高め、個々の能力にあった学科選択を指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の持ち帰り指導や身だしなみ指導を通して規律を守ることを意識させることができた。 朝のST前に検定の練習を行うなどのサポート体制を整えることができた。 学科選択を意識した授業説明や保護者、生徒向けの学科選択説明会を行い、学科選択への意識を向上させることができた。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、主体的に行動する力を身につけさせる。 進路に対する意識の高揚を図り、具体的な目標を明確化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年会や関係分掌との連携を図り、学校生活のあらゆる場面できめ細かい指導をする。またその際、生徒に指示するだけでなく、疑問を投げかけ、自分のやるべきことをイメージさせることによって自ら考える力を養う。 HRやLT活動などを活用して、自己分析の支援や自己発見の援助をする。また、進路指導部と連携を図り、ガイダンスを充実させ、職業や学問に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年全体として各ポイントとなる場面で、学年集会を実施した。また、各担任が関係分掌などに対して報告、連絡、相談を密にしながら連携して生徒の指導をした。 2学期の進路講話、3学期の進路ガイダンスに向けて打合せをした。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力や適性を十分に把握し、生徒に適した進路選択ができるように指導する。 社会人としてのモラルやマナーをしっかりと身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> HRやLT活動、個人面談を通して、生徒の進路希望について十分に理解する。また、引き続き進路指導部と連携をはかり、職業講話の充実や企業展への参加を積極的に促す。 日常生活に対する指導を通して、社会人として必要なモラルやマナーを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路希望調査の予備調査を3度行い、それを基に個人面談を行って、生徒の進路把握を行うことができた。また、5月に2回の企業展の参加を促すことができ、進路決定に役立てることができた。 社会人としてのモラルやマナーを授業や身だしなみ指導等を通じて伝えることができた。
	学校関係者評価を実施する 主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	